

令和2年度 美術学科 FD 研修会報告

日 時：令和2年11月27日（金）16:30～17:30

場 所：短大美術棟 2F A214 教室

講 師：美術学科 教授 権田宜子、准教授 新井 浩

テーマ：「CP をふまえ次年度のカリキュラム体系を検証する」

参加者：東田、権田、堀、新井、本山、和田、大谷、大場

欠席者：なし

今回の研修会では、美術学科の DP と CP をふまえ、次年度にむけたカリキュラム体系について、カリキュラムマップと教育課程における各科目の開講時期を検証した。

美術学科の専門科目にある「美術とビジネス演習科目」では、ビジネス実務学科の開講科目の一部を受講することができる。ビジネス実務学科では1年次からビジネス業務におけるサービスの考え方や接客方法等について学習しているが、美術学科の2年次にビジネス科目を受講となるとその時点で学びには開きがあり、さらにサービス検定2級等を取得することが目標となると、学生の精神的な負担も生じている。

授業アンケートの結果によると、授業の総合評価やさらに学びたいとする学習意欲においては両学科の学生には差が見受けられ、開講時期と検定試験日程にも開きがあることから、この現状をふまえて「サービス実務」のみ開講を見送ることにした。他の科目については、カリキュラムマップと教育課程における各科目の開講時期を確認した結果、今年度と同様に実施する。

また、リベラルアーツ教育拡充のため、リベラルアーツに関する科目について検討を行った。これは、リベラルアーツ教育等検討WGからの提案であり、リベラルアーツ科目について「データサイエンス」、「AI 基礎」は、3 学科共通して選択することが可能となっている。その他にも学外での体験学習で人や自然とふれあい、主体的に学ぶ能力を身につけるような授業が地域活動の一環につながるのではとのことから、ビジネス実務学科の「アウトドア演習」を美術学科なりの授業内容で開講できないかとの意見があった。この科目については授業内容や形式、教科担当者など様々な意見が出たことや他のリベラルアーツ科目もあげられたため、令和4年度のカリキュラムにむけて学科内で継続して審議していく。

